



フォルネウス  
ロモ

「ひでえ有様だな。」

「エルブシャフト北東部にゲートがある。真偽を確かめよ。」

そう、シバからの情報と命を受けソロモン一行は北東部ノストオルテン地方へと向かった。

「建物の崩壊はひどいが、ヴィータたちの死体はない。」

幻獣が関わっていることは間違いないだろう。

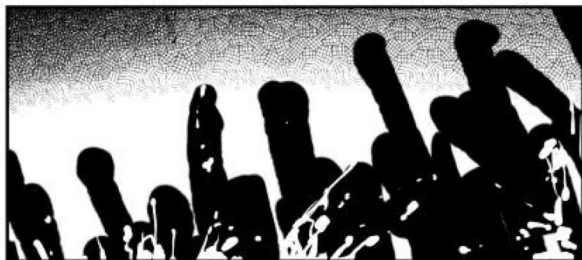
つづきが言葉として伝えられることはなかったが、一行の中ではその意識は共有されていた。そしてたいていの幻獣騒動に生存者がいることはそう多くはない。

「生きている人がいるかもしれない。俺はあっちを見えるよ。」

「アニキ、俺はむこうを見えるから何かあったら呼んでくれよな！」  
多くはない生存者だったソロモンはたいていの幻獣騒動で率先して生きている者を探していた。

「助けに来たんだ！誰かいらないか！」  
響き渡るよう、大きな声で叫ぶ。幻獣に見つかる危険を召喚という形で回避できるソロモンにしかしづらい手段だ。しかし、どんなに声が響いたとしてもいらないものに声が届くことはない。

「誰か！」  
その叫びは次第にかすれていった。



「あの……………」

「わっ！君は…………この村の子？」  
ほこりと煤にまみれた少女はこくりと頷いた。

「来てくれてありがとう、もう大丈夫だ。

人も呼んでくるからな。」  
「い…………や、いかないで…………」

ソロモンは当惑したがその姿は少女の目に映ってはいない。

「ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい、わたし、ひとりでかくれて

母さんも、姉さんも、弟も、母さんが

わたしを探していたのに、声が出なくて姉さんがいやだって泣いてたのに、出て

いけなくて、弟が一番しつかりしてたのに、

食べられるときは一番ひどかったのに、

みんな、みんな、ごめんなさい。みんなを

見捨てて、ごめんなさい…………」

少女の目からは大粒の涙が零れる。

「大丈夫。  
俺たちが絶対になんとかするから。」





目的を  
履き違えるな



止してくれ  
フォルネウス

彼もあんな  
言い方  
しなくても  
良いだろうにね

宿州外でそれのたふ



全く



ガープは  
正しいよ



え？

キミも  
キミだ

短慮は大きな  
被害を呼ぶんだ





ボクだって  
目に見えるキミの  
助けになりたいのさ



無茶をする姿は  
親友として  
見過ごせない

じゃあ

フォルネウス  
.....



.....  
ボクの能力で  
キミの強化を？

ムリ  
かな...



ボクを  
誰だと思って  
いるんだい？

天才の発言に  
不可解さもないよ

あ、  
いっせやっ



気がかり  
なのは  
キミの体だね

フォトンでの強化は  
未来の肉体の負担を  
前借りしている  
ようなものだからね

先の短い  
ヴァイタである  
キミの負担は  
大きいだろう

う……

追放メギドは  
頑丈だから  
ボクも特に  
気にしないけど  
……

それでも

俺のせいで  
みんなの足を  
止めるのは  
嫌だ

ギュ

キミの  
気持ちは  
よくわかった

じゃあ  
こうしよう







二人で話すこと  
とかあんのか？

アイツが言い出さ  
なければオレが  
言っていた

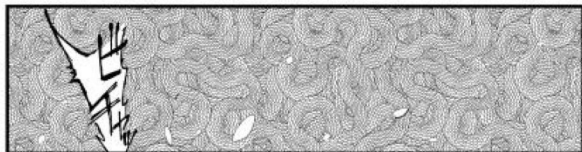
そういうもの  
を見分けて  
いるあたり  
.....  
観察力は  
いいようだな

しかし

なんだよ  
俺だけ  
かよ！？

何だ

この……

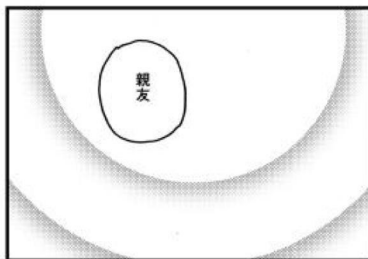




これじゃあ  
まるで……



うーん



親友



ホントに  
それで効くのか?

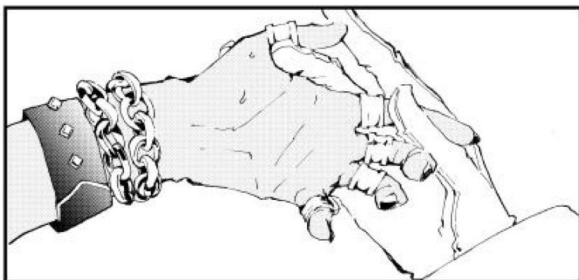
ボクの力を  
信じられない  
かい?

そういう訳  
じゃないけど



追放メギドは  
多少の無茶は  
きくけれど

ただのヴィータ  
であるキミには  
負担が大きい



だからこれは  
必要なことさ

~~フオルハウス~~

ちょっとわかりにくいところ補足  
ガーブはソロモンが変な薬やってるのか？  
と疑っているのと  
さすがに直接堂々と言うのは  
仮にも旗印だし…と気を遣っています







最近根を  
詰めていたよう  
ですしね……

ラセニムとオニニカニ

ワカッ  
最近  
ゴキゲン  
だったし  
うさぐさ  
うさぐさい！



コキゲン川うさん  
くさいって何よ……

あのなあ

とはいえ  
ヴィータにも  
栄養は必要  
だろう

逆です！  
ヴィータ  
だから  
こそゾロモン  
王に精を  
つけなくては

おいおい、  
そ、そういうこと  
じゃないん  
じゃね？

じゃあモラクス  
ソロモンを  
見てきて  
くれるかい

おう！





耐えてくれ  
親友



わかる  
かい？

ボクの  
力が



これを無事  
克服できれば

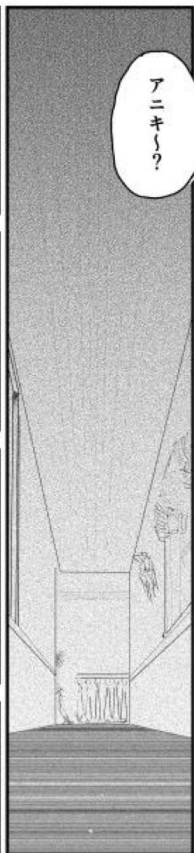
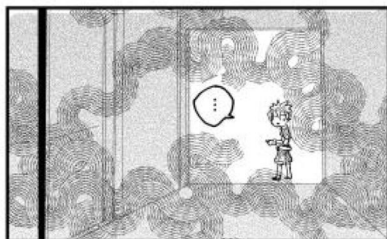
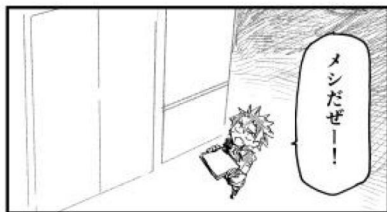


キミは更なる  
力を得られる

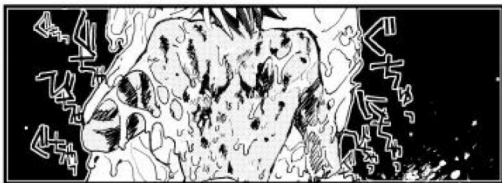
キミの体に  
馴染んできた  
ことに



……  
そう、だな









じゃあ  
続けようか  
フォルネウス



わかりにくいところの補足

①ずっとメギド体で回復(紫煙のアレ)をソロモンにかけつづけていたけれどソロモンからは変わらずウィータ体に見える、みたいなノリです  
モラクスからはメギド体のほうに見えています。

②最初は回復しかしてないですが  
噛み(破壊し)ながら回復することで  
ソロモンの体そのものを作り変えていってます  
(アローヘッド(アスモデウスキャラスト参照)の足のように)

③モラクスは合意臭い雰囲気のにまれて  
逃げたって感じですが  
吉と出るか凶と出るか…

つづきっぽいものをスパークで描けたらいいなあ

(再販時追記)

つづきをかくことにしました。(間に合っているかは未定)  
が、長い暗いよく死ぬ鬱漫画なので  
ラブラブいちゃいちゃしているフォルソロ(この本)  
という形で読み終えてもいいと思います。

64

奥付

フォルネウス×ソロモン

発行日 2018年8月11日 第一版(コピー)  
2018年10月7日 第二版  
2018年12月30日 第三版(コピー)  
発行者 QC(第一版)  
ジセダイ64bit(第二版)/64  
印刷所 自宅(第三版)  
連絡先 rokuyontarou@gmail.com  
twitter @rokuyontarou

だって仮定の話だよな？

フォルネウス お前  
アニキに何をしたんだ

アニキを一人に  
しちゃいけない

けれど親友は望んだのさ  
キミは親友の気持ちをも  
無下にするつもりかい？

さあ親友  
最後の仕事だ

オレ、アニキのこと

今更ムシが良すぎるよ

もしもアイツが知ったら

なのに何で  
こんな不安なんだ？

ありがとう モラクス

どうしたお前  
さっきから変だぞ

アニキに見つかからない  
ようにしないと

何勝手に  
決めてるのよ

どうしたんだ  
フォルネウス？

無理だよ即死だ

フォルネウス ~~モラクス~~ ~~ソロモン~~

